

多度津の人々にも 感謝されてきた湧き水

石神神社の北に、満賀の上湧・下湧と呼ばれる「大井湧」があります。この湧き水は多度津にも配水され、人々に大切にされてきました。

江戸時代の末期には多度津の田は満濃池の水ではなく、この湧き水でうるおすようになり、再び満濃池の配水を受けるようになったのは昭和35年になってからでした。石神神社の境内には、大井湧でうるおった多度津の五つの地区が感謝を込めて立てた石柱が残されています。



魚が泳いでいるきれいな湧き水です。

ここは、多度郡の金毘羅街道の近くで、元禄時代からは善通寺よりこんぞうじ金倉寺に続く遍路道沿いでもあります。旅の人やお遍路さんは、この水で大いに喉をうるおしたのです。

現在も湧き出る水は大切に管理されています。また、秋祭りの際には身を清める水として使われるなど、地元の人々に愛され続けています。



■ 下吉田町

● 吉田八幡神社から徒歩約2分